

前回 4月25日の例会記録

出席の状況

会員数 58名 (内出席免除 4名) 出席者数 40名 欠席者数 18名

出席率 72.73% 前々回訂正 91.07%

欠席者 原, 原田, 日笠(常), 加戸, 菊井, 木本, 家守, 小橋, 森本, 南葉, 高橋(裕), 坪井, 樋田, 山本, 山下(常), (平野), (柏野), (渡辺)

ビジター

〈岡山RC〉中島義雄 様 〈岡山西南RC〉小林孝一郎 様

S.A.A.



岡村会員

昨日、山陽新聞社主催の“金婚夫婦お祝の集”に出席、50年間互譲の精神を貫き通す事が出来ました。



堀川会員

先日の歴史同好会では、笠原会員の空調設備に関するタメになる話を聞かせて頂きありがとうございました。



大饗会員

沿道のさつきが満開で車窓から心が癒されます。先日久方振りのグランディ鳴門のゴルフではお世話になりました。



末吉会員

昨日の2016-2017地区研修協議会に出席された次期ガバナー補佐 岩本様、会長 岡本和夫様、社会奉仕委員長 相原様、国際奉仕委員長 樋口様、職業奉仕委員長 菊井様、青少年奉仕委員長 小松原様、事務局 中山様、お疲れ様でございました。



山田会員

クラブから誕生日のお花をいただき、ありがとうございました。又、先日有志の方で誕生日会を開いていただきました。ありがとうございました。何歳になっても祝ってもらいと嬉しいものですね。



西岡会員

水曜日の歴史同好会、土曜日の野球に参加された皆様、お疲れ様でした。



樋口会員

昨日の地区研修協議会おつかれさまでした。

7件 24,000円(累計 909,000円)

会長報告

会長 堀川 辰也

ガバナーより熊本地震の義捐金の要請が届きましたので、本日募金箱を回します。ご協力をよろしくお願い致します。集まった募金にクラブからも拠出して適当な金額にして送らせていただきます。さて、今回の地震の影響が岡山でも出てきています。昨日市場に勤めている方から話を聞きましたが、茄子やトマトが品不足になっているそうです。地震の影響はいろいろありますが、九州ではアジアからの外国人観光客が地震前までは、かなりたくさん来ていたそうですが、今回の地震により建物だけでなく交通網、特にJRの新幹線がストップしているため、旅行会社は全く計画をたてられない状況で、観光産業が壊滅的な状態だそうです。幸いにも4月中には、新幹線は復旧するとのこと。わたしも数年前に熊本や大分の温泉へ2度ほど行きましたが、このあたりは良い温泉がたくさんあり、早く元のように戻って温泉に行けるようになることを願っています。



幹事報告

幹事 入江 直人

- ① 5月のロータリーレートは1\$=110円です。
- ② 「平成28年熊本地震」被災地区に対する義捐金の募金箱を回しますので、ご協力よろしくお願い致します。
- ③ 創立25周年記念式典のプログラムを配付しておりますのでご覧ください。
- ④ 創立25周年記念式典・祝賀会終了後の「京都朱雀RCとの懇親会」のご案内を配付しておりますのでご参加ください。
- ⑤ 盲導犬クラブの会報、他クラブ週報を回覧致します。
- ⑥ 本日例会終了後13時30分より、3F「トパーズの間」において「第2回IM実行委員会」が開催されますので、実行委員会メンバーの皆様はご出席ください。



認証バナー及び感謝状の授与

ロータリー財団より、2014-2015年度の「毎年あなたも100ドルを」クラブ認証バナー及びEND POLIO NOW「歴史に1ページを刻もう」キャンペーンの感謝状が授与されました。



例会プログラム

国際ロータリー第2690地区2016-2017年度 地区研修・協議会

次期幹事 末吉 賢多

4月24日、米子市文化センターにおいて、2016-2017年度地区研修・協議会が開催され、岩本次期ガバナー補佐・岡本次期会長・菊井次期職業奉仕委員長・相原次期社会奉仕委員長・樋口次期国際奉仕委員長・小松原次期青少年奉仕委員長・事務局員中山さん・末吉が、勉強してまいりました。

●2016年RI規定審議会

次期会長 岡本 和夫

標記の報告が、地区代表議員である鳥居滋パストガバナーからありました。3年に一度開催されるRIの国会ともいわれる会議で、全世界533地区から523名の代表議員が集まり、4月10日から15日までシカゴで開催されました。

7月1日より発効する制定案の主なものとして、

1. クラブ運営
 - (1) 書面による理事会議事録の作成
 - (2) クラブ会計を理事会メンバーとする
 - (3) ロータリークラブの目的を定義する
2. クラブ例会と出席に柔軟性を認める
 - (1) クラブの自主性を尊重する
 - (2) クラブは、少なくとも月2回例会を持たなければならない
 - (4) クラブ会員の入会金を廃止する
3. 会員
 - (1) 会員身分に柔軟性を認める
 - (2) 会員身分の規制を変更する
4. 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認める
5. 従来型クラブとEクラブの区別を無くす
6. 人頭分担当金を毎年4ドル値上げする
・財務の運用で赤字がでていること ・米国のインフレ率が5%見込まれ人件費が高騰
7. その他
 - (1) ローターアクターが正会員になることを認める
 - (2) 理事会は必要と判断すれば、クラブに対して「ロータリーの友」の購読義務を免除できる



以上、個々のクラブにとって理解しにくい箇所や判断を迫られる部分があります。今後理事会で審議し、会員にも意見を求めたいと考えています。

●国際奉仕部門

次期国際奉仕委員長 樋口 芳紀

事前アンケートを元に各ロータリーの活動内容とその評価・反省点を報告しました。

- 1) 過去2～3年における国際奉仕活動の評価反省点として
奉仕活動は、ベトナム・フィリピン・タイなどアジアへの奉仕をされているところが多かったです。内容としては、学校施設への支援として教材・機材や図書室を作る活動や文具を送るなどがありました。評価は、どのクラブもいい結果を得ているようです。反省点という事では、言葉の問題が一番で、日本語に明るい現地の担当者とか英語がある程度理解できなければとても難しい奉仕作業で、どうしても現地に任せっきりになるのが現状といわれていました。
- 2) 2016-2017年度或いはそれ以降で計画されている活動については
単年度での計画より長期的に支援活動をしているクラブが多くありました。それでも、現地の受け入れの担当者レベルの問題はあるようです。
- 3) 海外クラブとの交流活動としては
現状交流していないクラブも多く、今後地区RCの発展を踏まえて海外にむけて発信していく必要があり海外交流、交換留学生の支援活動とかを行っていく為の協議は行っているようです。
- 4) 米山記念奨学金については
会費に組込んだり、米山募金として募金箱を例会時に回したり、また米山ランチなどで奨学金を集めている。基本、会員の理解と協力で奨学金の意義を深めている。
- 5) その他、国際奉仕活動について
交換留学や、米山留学の支援活動、海外RCとの交流をはかって行いくことでいろんな奉仕活動を検討していく。



●青少年奉仕の各事業の発表

次期青少年奉仕委員長 小松原 隆代

- 文化部門では、弁論大会・研究発表・作文大会等の支援
- スポーツ部門では、野球・サッカー・柔道大会等の支援
- インターアクト・ローターアクト等の支援活動
- 各クラブとも、継続事業が多い
- 子供または学生たちと共に活動する事業

《苦勞している点》

- 各関係者の日程調整が難しい(ほとんどの事業)
- 会員の減少している所に活動そのものが大変になっている
- インターアクトの場合、入部生徒の確保に苦勞している。



- 学校を対象の活動事業の場合、学校が「これ以上、事業を増やさないで」と言われる
- 継続事業のマンネリ化
- 交換留学生の受け入れ先がない

《感動した点》

- 何よりも、子供の笑顔に一番感動したが、殆どの意見 ○子供たちの成長が見える

《その他》

- 各クラブのロータリー活動を一般に告知する場所・方法があると思う
- 他クラブが、どんな活動をしているか知る機会があると思う(参考にすることが出来る)
- 単クラブではなく、いくつかのクラブと一緒に活動すると活気が出るのでないか
- グループ全体で取り組む事業があると思う
- 事業が終わった後、反省会があるとよりよい事業が出来る
- 委員長が単年度なので、事業が理解しにくく引き継ぎが困難
- 地区補助金事業の場合、前年度からの取り掛かりが必要になるため、実情は難しい

《カウンセラーのコメント》

※青少年奉仕は、たいへんやりやすい事業であり、継続もしやすい。また、成果の見やすい事業であるが、それだけにリスク管理をしっかりして欲しい。事業の公共性のために、ソーシャルネットワークを活用して欲しい。事業を次年度、次年度に繋がるように、役立てて欲しい

●社会奉仕委員会

次期社会奉仕委員長 相原 利行



1. 過去の社会奉仕活動について

各クラブでは、清掃活動、献血活動、伝統文化の継承活動等、独自の活動を進めているが、マンネリ化を懸念する声もあがった。当クラブでは、今年度から継続する事業として、赤十字血液センターと連携した献血やPR活動への協力を行う。また、検討中であるが、もう1件、柱となる事業を行いたい。

2. 社会奉仕活動に関する要望

地区補助金事業について、補助金の額も少額で、要件が厳しく活用しづらいという声が相次いだ。これに対しては、2690地区の裁量によるものではなく、対応は難しいとの回答があった。

3. 熊本大震災について

急遽、グループディスカッションのテーマに追加された。義援金の拠出は早急に行うべきであろうが、物資の援助は先方のニーズに合ったものでなくてはならない。

●職業奉仕委員会

次期職業奉仕委員長 菊井 慎也

5~6人の11グループに分かれて、30分のディスカッションを行い、その後各グループごとに発表を行いました。

職業奉仕の活動については、職場訪問・職業奉仕のフォーラム開催・職業奉仕に関する卓話・「四つのテスト」の唱和等いろいろな活動について、各グループより発表がなされました。

最後に渡辺好政元RI理事より、「職業奉仕とは何か」についてお話があり、「職業奉仕」は対価のあるもの、「社会奉仕」は無償で行うもの、そして職業奉仕の最大の目標は企業の成長及び人の成長とのお話がありました。

●2016-2017年度 地区研修・協議会 部門別協議会 幹事部門

次期幹事 末吉 賢多

リーダーを次期代表幹事岡空様、カウンセラーをパストガバナー伊藤様にて、地区スローガン・次期地区目標などの説明がございました。

スローガンは「地域のため 世界のため」

地区目標は8つございましたが、「会員増強(純増3%)」「ポリオ撲滅に協力(ポリオプラスへの寄付30米ドル)」「地区補助金の活用」等の説明がございました。

また、幹事はクラブ運営において重要なパイプ役になり、クラブ活動の記録を残すことなど、心構えについて講話を頂戴しました。改めて、身の引き締まる研修協議会がございました。



クラブ情報

5月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー (5月9日(ミリオンダーラミール))

チキンスープカレー ミモザ風サラダ 白ゴマのブランマンジェきなこクリーム

次回のメニュー (5月16日)

寿司 盛り合せ寿司 (勘八 鯛 海老 玉子 いなり寿司 がり(県産昔醤油))

小鉢 (ひじき五目煮 青身) 小皿 (きくらげ天灸り 生姜醤油)

炊合 (湯葉豆腐木の子餡掛け 青身) 赤出汁 (浅利 刻み葱 若芽 粉山椒)